

2026年4月1日から  
2027年3月31日まで

**2026年度**  
**事業計画・収支予算書**



公益財団法人 ベネッセこども基金

## 2026年度 事業計画書

(2026年4月1日～2027年3月31日)

2025年度は、中期計画の最終年度であり、また財団設立10周年として、これまでの実績や成果を広報強化を通じて幅広く発信するとともに、次のステージに向けた基盤づくりに取り組んだ年であった。

2025年度は、財団設立10周年を一つの転換点と捉え、第二の創業に向けた基盤づくりの年と位置づけた。ベネッセコーポレーションへの依存から脱却し、寄附・外部助成・企業連携など財源の多角化を本格的に推進するべく、中長期目標の策定に着手した。

新助成プログラム群のリリースや財団設立10周年イベントの大規模開催は次年度以降に向けて仕切り直しとし、今年度は助成団体との交流会を中心に小規模ながら丁寧な関係構築を優先した。

助成事業については、既存の約束を着実に履行することを最優先とし、病气助成の継続をはじめ、交流会などを通じて助成団体とのコミュニケーションを確保した。

自主事業も選択と集中の観点から計画的に整理し、成果を出して終了することができた。

10周年を契機に、アニュアルレポートやWebサイト、PR動画を全面刷新し、外部への発信力を大幅に強化した。寄附・外部財源の獲得に向けた土台を整えるとともに、専門家の知見を借りながら次期中期計画を立案し、財団の経済的自立に向けた道筋を描いた。

▶2025年度は、「選択と集中」を実行し、第二創業への準備を完了した年。

▶2026年度は、「第二創業元年」として、財源多角化の基盤を構築し、新しい財団のあり方に挑戦する年とする。

I : 2026年度の重点テーマ

### 2026年度の位置づけ

**「第二創業元年」財源多角化の基盤を構築し、新しい財団のあり方に挑戦する年**

## 1. 【助成事業】

- ・ベネッセらしさを体現する単年度の助成プログラムを創り、財団の旗印とする。  
(例：「学びをあきらめない助成」with ベネッセ社員との共創、など)

## 2. 【自主事業】

- ・選択と集中により絞り込んで実施。原則、外部財源獲得につながるテーマに絞って小規模で実施。

(例：「過疎地」「児童養護施設」「若者」「外国ルーツ」など) ※寄附、外部助成、企業連携を目指す

## 3. 【広報・基盤強化】

- ・第二創業の核心である財源多角化の仕組みを構築し、寄附・外部助成・企業との共創によるマッチング寄附獲得を開始

## II. 会議体スケジュール (予定)

	日時	主な議案
第1回理事会	5月29日(金) 10:00~11:00	・2025年度事業報告・決算 ・評議員会の開催
第1回評議員会	6月23日(火) 10:00~10:30	・2025年度事業報告・決算 ・理事選任
第2回理事会	6月23日(火) 10:30~12:00	・特別寄附金受入 ・代表理事活動報告
第3回理事会	11月12日(木) 10:00~12:00	・新助成金の公募承認 ・代表理事活動報告
第4回理事会	3月10日(水) 10:00~12:00	・2027年度事業計画/予算 ・「経済」(複)助成団体承認 ・代表理事活動報告

## III. 予算

2026年度 公益財団法人ベネッセこども基金  
 収支予算計算書(正味財産増減計算書ベース)  
 2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益事業会計 子どもの学び 支援事業	法人会計	合計	2025年度 補正予算	差異
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取寄付金	66,379	10,000	76,379	109,163	▲ 32,784
受取寄付金	1,300	0	1,300	3,302	▲ 2,002
受取寄付金振替額	65,079	10,000	75,079	105,861	▲ 30,782
雑収益	300	0	300	3,231	▲ 2,931
受取利息	300	0	300	671	▲ 371
雑収益	0	0	0	2,560	▲ 2,560
経常収益計	66,679	10,000	76,679	112,394	▲ 35,715
(2) 経常費用					
事業費	66,679	0	66,679	112,394	▲ 45,715
原稿料	630	0	630	920	▲ 290
監修費	3,000	0	3,000	60	2,940
法定福利費	3,054	0	3,054	4,470	▲ 1,416
給料手当	17,760	0	17,760	26,210	▲ 8,450
旅費交通費	5,395	0	5,395	10,550	▲ 5,155
通信運搬費	240	0	240	150	90
減価償却費	24	0	24	24	0
消耗品費	0	0	0	430	▲ 430
印刷製本費	0	0	0	30	▲ 30
保険料	0	0	0	10	▲ 10
諸謝金	360	0	360	900	▲ 540
支払負担金	0	0	0	17,820	▲ 17,820
支払助成金	27,126	0	27,126	34,780	▲ 7,654
研修費	660	0	660	1,960	▲ 1,300
委託費	5,210	0	5,210	5,760	▲ 550
その他事業費	0	0	0	10	▲ 10
普及宣伝費	1,210	0	1,210	110	1,100
渉外費	180	0	180	290	▲ 110
制作費	0	0	0	4,700	▲ 4,700
報酬	1,270	0	1,270	1,540	▲ 270
会議費	560	0	560	1,450	▲ 890
新聞図書費	0	0	0	220	▲ 220
管理費	0	17,072	17,072	23,459	▲ 6,387
役員報酬	0	1,000	1,000	900	100
給料手当	0	4,440	4,440	6,550	▲ 2,110
福利厚生費	0	20	20	20	0
会議費	0	200	200	380	▲ 180
旅費交通費	0	80	80	0	80
通信運搬費	0	100	100	330	▲ 230
減価償却費	0	15	15	15	0
消耗品費	0	50	50	360	▲ 310
新聞図書費	0	50	50	110	▲ 60
印刷製本費	0	800	800	800	0
光熱水料費	0	60	60	260	▲ 200
賃借料	0	1,900	1,900	1,900	0
諸謝金	0	30	30	30	0
支払負担金	0	2,380	2,380	580	1,800
雑費	0	180	180	180	0
法定福利費	0	763	763	1,120	▲ 357
渉外費	0	40	40	40	0
支払手数料	0	460	460	460	0
委託費	0	1,200	1,200	6,120	▲ 4,920
制作費	0	2,080	2,080	2,080	0
研修費	0	654	654	654	0
原稿料	0	570	570	570	0
経常費用計	66,679	17,072	83,751	135,853	▲ 52,102
当期経常増減額	0	▲ 7,072	▲ 7,072	▲ 23,459	16,387
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	▲ 7,072	▲ 7,072	▲ 23,459	16,387
当期一般正味財産増減額	0	▲ 7,072	▲ 7,072	▲ 23,459	16,387
一般正味財産期首残高	6,656	11,274	17,930	41,389	▲ 23,459
一般正味財産期末残高	6,656	4,202	10,858	17,930	▲ 7,072
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	40,000	10,000	50,000	0	50,000
受取寄付金	40,000	10,000	50,000	0	50,000
一般正味財産への振替額	▲ 65,079	▲ 10,000	▲ 75,079	▲ 105,861	30,782
一般正味財産への振替額	▲ 65,079	▲ 10,000	▲ 75,079	▲ 105,861	30,782
当期指定正味財産増減額	▲ 25,079	0	▲ 25,079	▲ 105,861	80,782
指定正味財産期首残高	232,673	0	232,673	338,534	▲ 105,861
指定正味財産期末残高	207,594	0	207,594	232,673	▲ 25,079
III 正味財産期末残高	214,250	4,202	218,452	250,603	▲ 32,151

IV. 資金調達及び設備投資の見込みについて

(事業年度 2026年4月1日から2027年3月31日)

1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の予定はなし。

2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はなし。

V. 当該事業年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容について記載した書類（事業の概要）について

別紙をご参照下さい。